



日本にいる「ノーベル賞級の名医」

教育講演会

心臓を動かしたままのバイパス手術や手術支援ロボットを使った心臓手術など、日本で初めての手術を次々と成し遂げ驚異的な手術成功率を誇り“神の左手を持つ男”「心臓外科のブラックジャック」と呼ばれる天才外科医。



日時：平成25年10月29日(火)午後7時～8時30分
場所：かわち保健センター ◆入場無料◆

◆講師◆ **渡邊 剛**(わたなべ ごう)先生
金沢大学附属病院 心臓血管外科教授

経歴：1958年、東京生まれ

金沢大学医学部卒業後、金沢大学第一外科に入局。海外で活躍する心臓外科医になりたいとドイツ留学。日本人最年少の32歳で心臓移植を執刀。41歳で金沢大学心肺総合外科の教授。2005年からは日本人として初めてのロボット心臓手術を行う。世界の最先端医療であるロボット心臓手術を日本で唯一行っています。2005年～2011年まで、東京医科大学の新設“心臓外科”初代教授として金沢大学と兼任、東京と金沢を往復して多くの患者さんの手術を行っております。

小学生を中心とした子供達に、手術ライブ手術を供覧する会などを行って、将来医学を目指す子供たちに外科手術の素晴らしさや医療についての知識を広めるため活動するなど、多方面で活躍中です。

家庭においては、五男の父。

◇本年3月の「みんなの家庭の医学」(朝日放送)出演後、多忙のため現在は講演会活動を自粛している中での大変貴重な特別講演会です。多数お誘い合わせ、お越し下さいますよう宜しくお願い致します。
尚、小学生も参加可能です。

主催：河内公民館・河内地区団体連絡協議会・河内小学校PTA